

2019年12月27日
テルモ株式会社

テルモの社会貢献活動に関するお知らせ

2020年秋に開催予定の現代アート展覧会「ひろしまトリエンナーレ2020」と、この秋に開催されたプレイベントに関連して、テルモ株式会社と公益財団法人テルモ生命科学振興財団との関係について、お問い合わせをいただいておりますので、テルモの社会貢献活動の概要と、両イベントとの事実関係についてご説明いたします。

テルモの社会貢献活動

テルモは、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、本業を通じて患者さんや医療従事者に貢献するとともに、良き企業市民として、社会貢献活動を推進しており、献血、被災地支援、地域社会支援などを実施してきました。加えて、芸術文化助成として、2015年度は現代美術と日本の伝統工芸を対象に、2016年度と2017年度は日本の伝統工芸のみを対象に募集を行い、合計34件の助成を実施しました。その他のテルモによるサステナビリティ活動については、サステナビリティレポートをご確認ください。

ひろしまトリエンナーレ・同プレイベントとテルモ・テルモ財団との関係について

1. テルモとテルモ財団は、ひろしまトリエンナーレとそのプレイベントに対し、支援・協賛などを一切行っておりません。また、両イベントの内容や運営にも関与しておりません。
2. ひろしまトリエンナーレの総合ディレクターである中尾浩治氏は、2016年3月までテルモの代表取締役会長を、その後2017年6月まで顧問を務めていました。また、テルモ財団では、2017年6月まで理事長を務めていました。しかし、それぞれの退任以降は、テルモおよびテルモ財団と何らの契約関係その他の関係を一切有しておりません。
3. テルモとテルモ財団は、それぞれ2015年度と2016年度に、現代美術家・柳幸典氏の作品への助成を決定しましたが、プレイベントの一部を構成するプロジェクトを主催したNPO法人「ART BASE 百島」（代表者：柳幸典氏。2018年5月設立）への助成等を行ったことはありません。

なお、テルモ財団は、テルモの拠出資金を基本財産として、1987年4月に設立されましたが、テルモからは完全に独立した法人です。その運営は、テルモ財団の設立趣旨に基づいて、テルモの意思決定とは関係なく行われています。

このたび、テルモに対してテルモ財団に関するお問い合わせもいただいたため、上記の説明を記載しております。

以上